



2021年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月8日

上場会社名 マニー株式会社
 コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役副社長
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 齊藤 雅彦
 (氏名) 高橋 一夫
 TEL 028-667-1811

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	12,935	9.0	4,268	15.8	4,621	21.7	3,480	22.1
2020年8月期第3四半期	11,863	13.9	3,685	18.1	3,796	15.0	2,849	44.2

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 4,037百万円 (49.2%) 2020年8月期第3四半期 2,705百万円 (11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	35.36	
2020年8月期第3四半期	28.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	41,706	38,438	92.2
2020年8月期	39,289	36,566	93.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 38,438百万円 2020年8月期 36,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		11.00		11.00	22.00
2021年8月期		11.00			
2021年8月期(予想)				12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,542	15.4	5,643	30.0	5,462	23.5	3,784	13.7	38.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期3Q	106,911,000 株	2020年8月期	106,911,000 株
期末自己株式数	2021年8月期3Q	8,484,459 株	2020年8月期	8,484,435 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期3Q	98,426,551 株	2020年8月期3Q	98,426,565 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入社している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するワクチンの接種ペース加速により収束に向けて前進しつつありますが、変異型ウイルスの流行等もあり、引き続き予断を許さない状況で推移しております。国内経済におきましても、消費活動等の景況感の持ち直しが期待されるものの、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による断続的な経済活動の制限等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループにおきましては、需要の拡大が見込まれる海外販売拠点を中心に、Webを活用した医師向けセミナーの開催や顧客への製品紹介を実施することでマーケティング強化に努めてまいりました。これらの結果、サージカル関連製品及びデンタル関連製品においては、市場回復の早い中国の売上が牽引し増収となりました。一方、アイレス針関連製品においては、引き続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により病院での手術が制限されたこと等が影響し減収となりました。

生産面については、ベトナムの生産拠点 MANI HANOI CO., LTD. において、地域が掲げる新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の徹底した罹患リスク対策を遵守することで、工場内で感染者を発生させることなく生産活動を継続しております。生産技術面では、ベトナム現地拠点を主体として更なる生産効率化ならびに品質向上に努めてまいりました。

開発面においては、開発テーマの「選択と集中」による開発期間の短縮を最優先目標として掲げ、重要性の高いテーマへ効果的にリソースを集中させる仕組みの構築に努めてまいりました。さらに、中長期的には国内医師のみではなく、販売拠点の活動を通じて海外医師の声を取り入れることで、グローバルなニーズを反映した新製品開発を進めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 12,935百万円（前年同期比 9.0%増）、営業利益は売上高が増加したこと等により4,268百万円（同 15.8%増）、経常利益は為替差益が増加したことにより4,621百万円（同 21.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,480百万円（同 22.1%増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。また、第1四半期連結会計期間から業績管理区分の見直しにより、従来「サージカル関連製品」、「デンタル関連製品」に含まれておりました針付縫合糸について、「アイレス針関連製品」に変更しております。そのため以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

(サージカル関連製品)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、不急の手術が制限され、国内での売上が低調に推移したものの、品質評価の高い眼科ナイフが中国で好調に推移し、売上高は 3,633百万円（前年同期比 5.8%増）となりました。また、利益寄与度の高い製品の売上高が増加したこと等により、セグメント利益(営業利益)は 1,235百万円（同 15.4%増）となりました。

(アイレス針関連製品)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により病院での手術件数が制限されたこと等により、売上高は 3,726百万円（前年同期比 5.9%減）となりました。また、売上高が減少したこと等から、セグメント利益（営業利益）は 1,235百万円（同 13.7%減）となりました。

(デンタル関連製品)

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）からの回復が早い中国における根管治療機器の売上が好調に推移したこと及び海外子会社のGDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHにおける欧州の売上が好調に推移したことにより、売上高は 5,575百万円（前年同期比 24.7%増）となりました。また、売上高が増加したこと等から、セグメント利益(営業利益)は 1,797百万円(同 51.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,416百万円増加し、41,706百万円となりました。これは主に、新本社・R&Dセンター予定地の取得に伴い、土地が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ544百万円増加し、3,268百万円となりました。これは主に、未払法人税等が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,872百万円増加し、38,438百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、2020年10月9日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありませんが、国内外における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の状況を注視してまいります。

今後、連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに公表いたします。

なお、2021年5月、6月において当社製品の一部について自主回収を行う旨を通知し、回収作業に着手しております。今後、品質管理体制を一層強化し、再発防止に努めてまいります。本自主回収による連結業績予想への影響は精査中ではありますが、限定的であると見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,175	17,380
受取手形及び売掛金	1,577	1,903
有価証券	—	1
商品及び製品	951	747
仕掛品	3,891	3,961
原材料及び貯蔵品	1,801	1,841
その他	790	327
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	26,186	26,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,820	4,175
機械装置及び運搬具(純額)	4,615	4,425
土地	1,132	3,873
その他(純額)	846	750
有形固定資産合計	10,415	13,225
無形固定資産		
のれん	166	101
ソフトウェア	20	20
その他	733	788
無形固定資産合計	920	910
投資その他の資産		
投資有価証券	1,311	979
繰延税金資産	255	236
保険積立金	183	179
その他	16	14
投資その他の資産合計	1,767	1,410
固定資産合計	13,103	15,546
資産合計	39,289	41,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149	147
未払金	430	295
リース債務	44	42
未払法人税等	309	664
賞与引当金	441	255
火災損失引当金	98	—
その他	453	943
流動負債合計	1,928	2,347
固定負債		
リース債務	17	11
役員退職慰労引当金	92	98
退職給付に係る負債	536	546
資産除去債務	114	227
その他	33	36
固定負債合計	794	920
負債合計	2,723	3,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	988	988
資本剰余金	1,036	1,036
利益剰余金	37,624	38,939
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	36,524	37,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	34
為替換算調整勘定	△7	618
退職給付に係る調整累計額	△61	△53
その他の包括利益累計額合計	42	599
純資産合計	36,566	38,438
負債純資産合計	39,289	41,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	11,863	12,935
売上原価	4,011	4,575
売上総利益	7,852	8,360
販売費及び一般管理費	4,166	4,092
営業利益	3,685	4,268
営業外収益		
受取利息	64	52
受取配当金	13	1
投資事業組合運用益	30	4
為替差益	50	384
その他	12	11
営業外収益合計	171	455
営業外費用		
支払利息	1	1
シンジケートローン手数料	15	2
持分法による投資損失	17	13
自宅待機時休業補償等	26	58
外国付加価値税等	—	22
その他	0	4
営業外費用合計	60	102
経常利益	3,796	4,621
特別利益		
保険解約返戻金	2	2
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	529	107
関係会社株式売却益	—	48
受取保険金	13	166
特別利益合計	545	324
特別損失		
固定資産売却損	0	9
固定資産除却損	5	3
固定資産撤去費用	—	13
役員退職慰労金	0	0
火災損失	201	12
特別損失合計	207	38
税金等調整前四半期純利益	4,134	4,907
法人税、住民税及び事業税	1,096	1,375
法人税等調整額	187	51
法人税等合計	1,284	1,427
四半期純利益	2,849	3,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,849	3,480

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	2,849	3,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270	△77
為替換算調整勘定	107	622
退職給付に係る調整額	15	8
持分法適用会社に対する持分相当額	2	4
その他の包括利益合計	△144	557
四半期包括利益	2,705	4,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,705	4,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,433	3,959	4,471	11,863	-	11,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	3,433	3,959	4,471	11,863	△0	11,863
セグメント利益	1,070	1,431	1,183	3,685	-	3,685

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,633	3,726	5,575	12,935	-	12,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	△1	-
計	3,633	3,727	5,575	12,937	△1	12,935
セグメント利益	1,235	1,235	1,797	4,268	-	4,268

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から業績管理区分の見直しにより、従来「サージカル関連製品」、「デンタル関連製品」に含まれておりました針付縫合糸について、「アイレス針関連製品」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。